

## 大阪大学経営協議会（平成27年度 第2回）議事要旨

日 時 平成27年9月17日（木）14時00分～16時00分

場 所 大阪大学中之島センター 9階会議室1・2

出席者 西尾総長（議長）

相澤、井上、川島、小林、佐藤、鈴木、角、南部、野路、渡辺

三成、小林、八木、小川、星野、吉川、工藤、大木、竹中、河原、澤、有川、金倉  
各委員

欠席者 上山、岡本、尾崎、手代木、友野 各委員

議事に先立ち、西尾議長より総長就任の挨拶並びに新任の学内委員及び学外委員について紹介があった後、会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告があった。

続いて、前回（6月17日開催）の議事要旨については、既に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

### 議 事

#### 【議事】

##### 1 理事の任命について

西尾議長から、配付資料に基づき、平成27年8月26日付で理事8名を任命したこと及びそのうち大木理事を除く7名を副学長に指名したことについて報告があった。

##### 2 新執行部の運営体制について

西尾議長から、配付資料に基づき、今後の大学運営について、新たに総長参与、総長特命補佐及び副理事を設けたこと、8つの室を設けて合意形成に基づくスピード感ある意思決定を行っていくこと等、新たな運営体制の概要について報告があった。

##### 3 総長参与及び総長特命補佐の指名について

西尾議長から、配付資料に基づき、総長参与7名及び総長特命補佐4名を指名したことについて報告があった。

##### 4 経営協議会規程の一部改正について

西尾議長から、配付資料に基づき、経営協議会規程について、学外委員を1名増員したことに伴い、任期及び再任回数に関して改正した旨の報告があった。

##### 5 平成28年度概算要求事項について

三成委員から、配付資料に基づき、文部科学省から財務省へ提出された平成28年度概算要求事項について報告があった。

## 6 出資事業に係る報告について

吉川委員から、配付資料に基づき、大学に対する出資事業に係る進捗状況について報告があった。

## 7 理事の報酬額について

西尾議長から、新たに就任した理事の報酬額について説明があり、審議の結果、これを承認した。

## 8 教職員の給与等について

大木委員から、配付資料に基づき、新執行部の運営体制整備に伴う管理職手当に係る所用の改正について説明があり、審議の結果、これを承認した。

### 【意見交換】

#### 1 今後の大学経営に関する考え方について

まず、新総長となった西尾議長から、配付資料に基づき、今後の大学経営に関するビジョンについて説明があった後、学外委員から以下のような意見があった。

- ・世界を相手に勝ち残るためには全学のガバナンス強化が必要であり、この危機意識を全学が共有することが重要である。
- ・これからの時代を先取りしたビジョンであると思う。6年間の任期があることは良いことであり、長期に大学改革を進めて欲しい。
- ・大学は人間を育てるところであり、いかにして素晴らしい人材を大阪大学に集めるかが、非常に大切な問題である。高大接続、入試改革だけでは少ない。もっと充実させてほしい。
- ・箕面キャンパスの移転や中之島地区をどうしていくのか等、そういった話を経営協議会でももっと議論していくべきではないか。
- ・経営努力により収益を上げた部局には、その分の利益を還元する仕組みを作るべきではないか。医学部附属病院の経営状況は全学の運営にも影響を与えるものであり、その改善のための当該職員の意欲向上に配慮をお願いしたい。
- ・大阪大学のユニークネス、目玉となるものがもう少しあった方がよいのではないか。大学名を伏せると何処の大学のビジョンか分からない。
- ・安全保障の観点が抜けている。安全保障分野で大学の担う役割は大きいのではないか。いかに大学の知を管理していくかも重要である。

- 大学の教育は、大学が考えている以上に小中高の教育に影響を与えている。そのことを認識し、入試改革に取り組んでほしい。
- 関西では健康医療分野での連携が盛んであり、京都大学、神戸大学等を含めてオープンな連携の中で関西が結果を出して行ってほしい。
- サービス（人間の幸せを追及する）という広汎なテーマについて、関西最大の国立総合大学、そして商都大阪の大学として、社会人と大学院生の協奏という形で学問の醸成ができないか。
- 予算、特に収入に関して、その遂行をシビアに考えて欲しい。予算達成について厳粛な考えで臨むべきである。
- 大学において基礎研究は非常に大事である。さらに、出口（目的）がしっかり決まった研究開発を1割でも行ってほしい。それにより新技術が生まれ、オープンイノベーションにつながる。
- 修士課程の教育の在り方を考えるべきではないか。学部卒業の学生と修士課程修了の学生にそれほど差がない現状がある。
- 新体制である8つの室に総長のビジョンを下して、具体的な戦略を作成し、それを全学に浸透させることを、出来るだけ早く進めたほうがよい。
- 「大学運営」ではなく「大学経営」という言葉を使っており、インパクトがある。大阪大学は特色ある大学なので、そこに共感して入学してくる学生がいる。大阪大学らしさを常に持って、大学経営を行って行って欲しい。

#### 【その他】

##### 1 平成26事業年度 財務諸表について

西尾議長から、前回の経営協議会（6月17日開催）にて審議した「平成26事業年度財務諸表」の詳細版で、文部科学大臣へ提出したものを参考に配付している旨の報告があった。

##### 2 次回経営協議会の開催予定について

平成27年度第3回の本協議会について、平成27年11月19日に中之島センターで開催する予定である旨の報告があった。

(以 上)